

幕末佐賀藩バスハイク 参加者募集!

〔明治維新150年関連事業〕

市内にある近代化遺産(三重津海軍所跡、築地反射炉跡、多布施反射炉跡、精煉方跡)などを案内人とともにバスとウォーキングで巡るツアー。



幕末佐賀藩の偉業に触れる旅に出かけてみませんか。

■日時 3月25日(日)

10時~16時 市役所西側集合

※9時50分集合、荒天時は中止。

■参加料 1,000円

(施設観覧料・昼食代込)

■定員 先着70人

■申込方法

件名に「幕末佐賀藩バスハイク参加申込」と明記の上、氏名、住所、携帯番号を電話、ファクス、電子メールで申し込みください。

◎申し込み・問い合わせ

〒840-0826

佐賀市白山2丁目7番1号

エスプラッツ2階

(一社)佐賀市観光協会 旅行課

☎37-7489 FAX 28-5656

✉yokou@sagabai.com

農業者のための SNS研修会



農業分野におけるSNS(ソーシャルネットワーク)サービスを利用した消費者に向けての広報展開や、生産者との情報交換の方法についての研修会です。

■対象

市内の新規就農者および農業分野でのSNS活用に興味のある農業者

■日時 3月13日(火)

13時30分~16時

■場所 アバンセ 4階 第1研修室

■講師 株式会社マイナビ

長嶺 雅透さん

■内容

事例紹介、Facebookページ作成

■定員 50人程度

■参加料 無料

※スマートフォンをお持ちください。

■申込方法

件名に「SNS研修会参加」と明記し、氏名、年齢、住所、電話番号を記入の上、はがき、ファクスまたは電子メールで申し込みください。

■申込期限 3月7日(水) 必着

◎申し込み・問い合わせ

〒840-8501

佐賀市栄町1番1号

佐賀市役所 農業振興課

生産者育成係

☎40-7118 FAX 40-7391

✉nogyosinko@city.saga.lg.jp

さがのよかとこアグリツーリズム(市委託事業) そば打ち体験 参加者募集

富士町関屋そばの会の皆さんが育てたそばを使った、そば打ち体験です。県産材のヒノキを使った箸づくりも行います。

里山の魅力にふれてみませんか。

■日時

3月4日(日)

9時45分~14時

■場所

富士町関屋そばの会

(富士町関屋2544-4)

※現地集合、解散です。

■定員

先着30人程度

(小学生以下は保護者同伴)

■参加料

中学生以上 2,000円

3歳児以上 1,500円

※保険料、体験料、昼食代込。

■持ってくるもの

暖かい服装・エプロン・三角巾・マスク

(花粉予防)・タオル・筆記用具

■申込方法

電話またはファクスで申し込みください。

■申込期限

2月27日(火)

■お問い合わせ

電話またはファクスで申し込みください。

2月27日(火)

◎申し込み・問い合わせ

さが21世紀県民の森

総合案内センターほおのき

担当:坂口・小副川

☎57-2341 FAX 57-2217



佐賀市立野球場に掲示する 広告を募集しています

佐賀市立野球場(ブルースタジアム)に、事業所や団体名を掲示し、PRしてみませんか。

■掲示箇所

内野ラバーフェンス

■募集区画

外野 10区画

内野 7区画

■広告区画

縦0.9m×横10m

■広告料金(年間)

・外野 150,000円

・内野 100,000円

年間 100,000円

■製作料金(広告主負担)

73,500円程度

■掲示方法

フィルム粘着

(ページヨ色)

■申込方法

「佐賀市体育施設広告掲示申込書」に広告の原稿を添えて、スポーツ振興課にご提出ください。



▲内野ラバーフェンス



▲外野ラバーフェンス掲載例

■選考

市が応募内容を審査し、決定します。

◎申し込み・問い合わせ

佐賀市教育委員会

スポーツ振興課 管理係

☎40-7361

FAX 40-7375

✉sport@city.saga.lg.jp

維新SAGAのぼんち話

えだよし 枝吉 しんよう 神陽

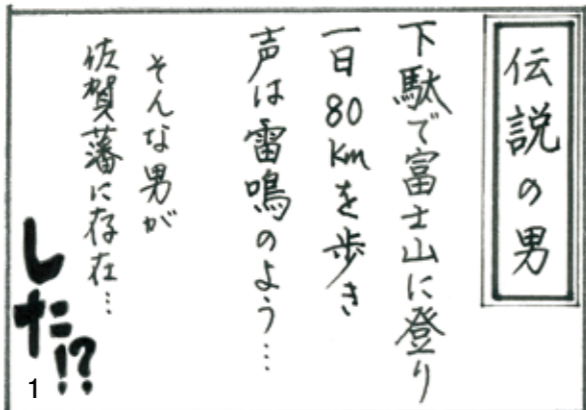
佐賀藩校「弘道館」教諭、国学者、尊王思想家。

神陽は「楠公義祭同盟」を主宰して佐賀に尊王論を広め、実弟の副島種臣をはじめ島義勇や大木喬任らの思想形成に大きな影響を与えました。

大隈重信も義祭同盟への加入を「世に志を立てるきっかけ」と振り返っています。

面識があった吉田松陰からは「肥前(佐賀)で必ず訪ねるべき人物」と評され、水戸藩の藤田東湖と共に「東西の二傑」と並び称された神陽は、「大柄で眼光鋭く、声は銅鑼の音のよう」、「一日80キロを歩き、下駄で富士山を登った」などの逸話がありますが、写真や肖像画は残されていないようです。

さらなる活躍が期待された神陽ですが、コレラに感染した妻を看病するうちに自らも感染し、41歳で亡くなってしまいます。しかし、神陽の遺志は確実に教え子たちに引継がれ、新しい時代を創りあげていきました。



◎問い合わせ
本庁 明治維新150年
事業推進室
☎40-7008
FAX 40-7381
✉kikakuseisaku@city.saga.lg.jp